

## 令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア 幕張第2教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5> <職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25>

強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
種類豊富で子どもたちが前向きに取り組めるようなプログラム展開ができています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日1日違うプログラムを設定、毎月職員からアイデアを募集し、ネーミングも含めて丁寧に準備をしている。</li> <li>・通っている児童の実態に合わせたプログラム設定ができており、「楽しめる」プログラム開発が可能となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にプログラムに関するアンケートを実施。児童の成長に合わせて変化するニーズにも対応できるようにしていく。</li> </ul>
ご家族さまの質問や相談をしやすい環境を提供できている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の送迎時のやりとりから保護者の方と密にコミュニケーションを取り、小さなお困りごとをお聞きできるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭内についてのご様子についても相談しやすい環境設定を引き続き提供していく。</li> </ul>
支援に関する意見を出しやすい職場環境である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のMTGの際に、職員1人1人が支援に関しての意見を出し合いより良い支援を提供できるよう準備している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他機関とも連携を図りながら、より支援の質を高めていく。</li> </ul>

弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	拠点として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
児童の特性把握に対して定期的な深堀ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日次でのMTGでその日の出来事や児童の様子について振り返りをする場面はあるが、特性について深堀、共有していく機会を作ることができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週次で児童の特性やその背景について職員間で話し合えるMTGを定期的に開催する形で実施していく。</li> </ul>
物品の保管場所が児童に見える状況になっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収納箇所の選定や、収納グッズの使用方法について検討しきれていない。</li> <li>・児童の実態に合わせて、様々な方法を試し収納方法を検討中である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、支援における有益性と室内のキャパシティのバランスを考えつつ、より良い収納環境を模索する。</li> </ul>